

脳神経外科

藤中俊之

脳神経外科では主に脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷などを対象疾患としています。脳血管障害に対しては、脳卒中内科と協力して 24 時間体制で対応しています。急性期脳卒中患者に対しては、病態に応じて、開頭手術、血管内治療、血栓溶解療法などの適切な治療を速やかに行い、発症からできるだけ早期にリハビリテーションを開始するとともに、地域連携パスを利用して後方病院でのスムーズな治療の継続を図っています。また、未破裂脳動脈瘤や慢性期脳血管障害に対しても十分な検討と IC を行ったうえで積極的に治療を行っています。血管内治療に関しては最新の血管内治療用血管造影装置が導入されたことと脳血管内治療専門医が複数在籍するようになったことでより高度な治療、最新のデバイスを用いた治療が可能となっています。新規血管内治療機器の治験や市販後調査、多施設共同研究にも積極的に参加しています。

脳腫瘍については、術前に詳細な画像評価を行い、術中はナビゲーションシステムや脳波・筋電図等によるモニタリングを駆使しより安全な手術を行っています。なかでも、中枢神経原発腫瘍の代表である神経膠腫に対しては、術中ナビゲーションやモニタリングに加え、5-アミノレブリン酸による蛍光反応ガイド下に手術を行うことで、機能温存を図りながら最大限の摘出を行うように努めています。特に機能的に重要な部位に発生した腫瘍においては、言語や高次機能を損なうことなく安全に手術を行うため麻酔科、リハビリテーション科の協力のもと覚醒下手術も行っています。また、当科は国立がん研究センター脳脊髄腫瘍科と臨床提携、共同研究を行っており、化学療法や分子標的薬、放射線治療の進歩により癌種ごとの治療方針が必要となっている転移性脳腫瘍や、希少がんである神経膠種や悪性リンパ腫など、疾患ごとに先進的、最適な治療方法を検討しております。

頭部外傷については救命救急センターと連携し重症頭部外傷にも対応しています。個々の外傷患者の背景や病態は様々ですが、それぞれに最善と考えられる治療方針をとるよう検討を行っています。

研修医、レジデント教育にも力を入れています。毎週の症例検討会のほかに救急医との合同症例検討会、抄読会などを行っています。また、顕微鏡手術については手術室外でもトレーニングが行えるよう、実体顕微鏡を購入しシリコンモデルや鶏肉を用いた卓上での組織剥離・血管吻合の練習を奨励しています。

学会発表についても活発に行っており、順次、論文化して国内外の医学雑誌に発表しています。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Watabe T, Shimosegawa E, Kato H, Isohashi K, Ishibashi M, Tatsumi M, Kitagawa K, Fujinaka T, Yoshimine T, Hatazawa J :

Paradoxical reduction of cerebral blood flow after acetazolamide loading: a hemodynamic and metabolic study with (15)O PET.、 Neurosci Bull. Oct;30(5):845-56. 2014 (2014 年 10 月)

Illies T, Säring D, Kinoshita M, Fujinaka T, Bester M, Fiehler J, Tomiyama N, Watanabe Y. :
Cerebral Aneurysm Pulsation: Do Iterative Reconstruction Methods Improve Measurement Accuracy in Vivo?、 AJNR Am J Neuroradiol. Jun 26. [Epub ahead of print] (2014 年 6 月)

Sakai N, Yoshimura S, Taki W, Hyodo A, Miyachi S, Nagai Y, Sakai C, Satow T, Terada T, Ezura M, Hyogo T, Matsubara S, Hayashi K, Fujinaka T, Ito Y, Kobayashi S, Komiyama M, Kuwayama N, Matsumaru Y, Matsumoto Y, Murayama Y, Nakahara I, Nemoto S, Satoh K, Sugiu K, Ishii A, Imamura H; Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy Investigators. :
Recent trends in neuroendovascular therapy in Japan: analysis of a nationwide survey--Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) 1 and 2.、 Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(1):1-8. (2014 年 1 月)

Imamura H, Sakai N, Sakai C, Fujinaka T, Ishii A; JR-NET Investigators. :
Endovascular treatment of aneurysmal subarachnoid hemorrhage in Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) 1 and 2.、 Neurol Med Chir (Tokyo). 54(2):81-90,2014 (2014 年 1 月)

Ishii A, Miyamoto S, Ito Y, Fujinaka T, Sakai C, Sakai N; Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy Investigators. :
Parent artery occlusion for unruptured cerebral aneurysms: the Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) 1 and 2.、 Neurol Med Chir (Tokyo). 54(2):91-7,2014 (2014 年 1 月)

Numata R, Okumura N, Nakahara M, Ueno M, Kinoshita S, Kanematsu D, Kanemura Y, Sasai Y, Koizumi N. Cultivation of Corneal Endothelial Cells on a Pericellular Matrix Prepared from Human Decidua-Derived Mesenchymal Cells. PLOS ONE 2014; 9(2): e88169 (2014 年 2 月)

Bamba Y, Shofuda T, Kanematsu D, Nonaka M, Yamasaki M, Okano H, Kanemura Y. Differentiation, polarization, and migration of human induced pluripotent stem cell-derived neural progenitor cells co-cultured with a human glial cell line with radial glial-like characteristics.

Biochem Biophys Res Commun 2014; 447(4):683-688 (2014年5月)

Okita Y, Nonaka M, Shofuda T, Kanematsu D, Yoshioka E, Kodama Y, Mano M, Nakajima S, Kanemura Y. (11)C-methinine uptake correlates with MGMT promoter methylation in nonenhancing gliomas. Clin Neurol Neurosurg 2014; 125:212-216 (2014年10月)

Kinoshita M, Sasayama T, Narita Y, Yamashita F, Kawaguchi A, Chiba Y, Kagawa N, Tanaka K, Kohmura E, Arita H, Okita Y, Ohno M, Miyakita Y, Shibui S, Hashimoto N, Yoshimine T. Different spatial distribution between germinal center B and non-germinal center B primary central nervous system lymphoma revealed by magnetic resonance group analysis. Neuro Oncol. 2014 May;16(5):728-34. (2014年5月)

Serikawa T, Nishiyama K, Tohyama J, Tazawa R, Goto K, Kuriyama Y, Haino K, Kanemura Y, Yamasaki M, Nakata K, Takakuwa K, Enomoto T. Prenatal molecular diagnosis of X-linked hydrocephalus via a silent C924T mutation in the L1CAM gene. Congenit Anom (Kyoto) 2014; 54:243-245 (2014年11月)

Okamoto N, Miya F, Tsunoda T, Yanagihara K, Kato M, Saitoh S, Yamasaki M, Kanemura Y, Kosaki K. KIF1A mutation in a patient with progressive neurodegeneration. J Hum Genet 2014; 59(11):639-641 (2014年11月)

Negishi Y, Miya F, Hattori A, Mizuno K, Hori I, Ando N, Okamoto N, Kato M, Tsunoda T, Yamasaki M, Kanemura Y, Kosaki K, Saitoh S. Truncating mutation in NFIA causes brain malformation and urinary tract defects. Human Genome Variation 2015; 2:15007 (2015年2月)

Yamada S, Okita Y, Shofuda T, Yoshioka E, Nonaka M, Mori K, Nakajima S, Kanemura Y. Ipsilateral hemiparesis caused by putaminal hemorrhage in a patient with horizontal gaze palsy with progressive scoliosis: a case report. BMC Neurology 2015; 15:25 (2015年3月)

Harada A, Miya F, Utsunomiya H, Kato M, Yamanaka T, Tsunoda T, Kosaki K, Kanemura Y, Yamasaki M. Sudden death in a case of megalencephaly capillary malformation associated with a de novo mutation in AKT3. Childs Nerv Syst 2015; 31(3):465-471 (2015年3月)

Miya F, Kato M, Shiohama T, Okamoto N, Saitoh S, Yamasaki M, Shigemizu D, Abe T, Morizono T, Boroevich KA, Kosaki K, Kanemura Y, Tsunoda T. A combination of targeted enrichment methodologies for whole-exome sequencing reveals novel pathogenic mutations. Sci Rep 2015; 5:9331 (2015年3月)

A-2

藤中俊之、吉峰俊樹：クモ膜下出血の診断と治療「最新臨床脳卒中学」、上：375-384、日本臨牀社、大阪、2014年7月

藤中俊之、吉峰俊樹：くも膜下出血の急性期治療「最新臨床脳卒中学」、下：456-460、日本臨牀社、大阪、2014年10月

山崎麻美、金村米博：X連鎖性遺伝性水頭症「日本臨牀 別冊 神経症候群（第2版）IV－その他の神経疾患を含めて－」pp.466-499、日本臨牀社、大阪、2014年9月

金村米博：小児疾患とiPS細胞－神経・筋疾患の治療法開発への応用可能性「小児内科第46巻増刊号 小児疾患診療のための病態生理1 改訂第5版」『小児内科』『小児外科』編集委員会共編、pp.26-32、東京医学社、東京、2014年11月

金村米博：幹細胞移植「再生医療用語ハンドブック」日本再生医療学会監修、pp.161-162、メディカルトリビューン、東京、2015年3月

沖田典子、成田善孝：がん種別における転移性脳腫瘍の特徴「転移性脳腫瘍 診断・治療・管理マニュアル」、P103-112、メディカ出版、大阪、2014年

A-3

佐々木貴浩、藤田浩二、深井順也、大林慎始、神波信次、金村米博、上松右二、中尾直之：神経性抗原発現を示した大脳半球神経膠芽腫の小児例「Neuro-Oncology の進歩」21(2):27-30、2014年9月

A-4

金村米博：上衣腫「脳21」17(1):77-85、2014年1月

金村米博：悪性グリオーマ治療における免疫療法の進歩「医学のあゆみ」293(3):267-269、2014年4月

金村米博、正札智子、市村幸一、西川 亮、山崎麻美、渋谷壮一郎、新井 一：小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築：髄芽腫，上衣腫「小児の脳神経」38(4):333-339、2014年6月

沖田典子、成田善孝：神経膠腫患者の認知機能・QOL研究の現状と課題. 脳神経外科ジ

ジャーナル, vol23 no.1 p46-58, 2014

A-5

金村米博: 次世代シーケンス法を応用した先天性中枢神経奇形症候群患者の原因遺伝子探索。厚生労働科学研究費補助金 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業 (難病関係研究分野)「分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子診断ネットワークの形成」平成 25 年度総括・分担研究報告書、pp.21-23、2014 年 3 月

金村米博: 次世代シーケンス法を応用した先天性中枢神経奇形症候群患者の原因遺伝子探索。厚生労働科学研究費補助金 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業 (難病関係研究分野)「分野横断型全国コンソーシアムによる先天異常症の遺伝要因の解明と遺伝子診断ネットワークの形成」平成 25 年度分担総合研究報告書、pp.30-33、2014 年 3 月

A-6

中島 伸: 「即レス」のすすめ「日本医事新報」(4717): P24、2014 年 4 月

中島 伸: アウトカムとは何ぞや? 「レジデントノート」16(1): P138-140、羊土社、2014 年 4 月

中島 伸: 最後の作戦「レジデントノート」16(3): P599-601、羊土社、2014 年 5 月

中島 伸: 当直日誌あれこれ「レジデントノート」16(4): P775-777、羊土社、2014 年 6 月

中島 伸: 小さな助言、大きな効果「レジデントノート」16(6): P1213-1215、羊土社、2014 年 7 月

中島 伸: よきリーダーとは? 「レジデントノート」16(7): P1389-1391、羊土社、2014 年 8 月

中島 伸: 症例報告作成のヒント「レジデントノート」16(9): P1781-1782、羊土社、2014 年 9 月

中島 伸: 最良の英語リスニング教材「レジデントノート」16(10): P1943-1945、羊土社、2014 年 10 月

中島 伸 : 私が周回遅れでした「レジデントノート」16(12) : P2335-2337、羊土社、2014年11月

中島 伸 : 新しい科学の形かも?「レジデントノート」16(13) : P2516-2518、羊土社、2014年12月

中島 伸 : 正常圧水頭症「レジデントノート」16(14) : P2720-2721、羊土社、2014年12月

中島 伸 : 精進重ねた2, 3年「レジデントノート」16(15) : P2905-2907、羊土社、2015年1月

中島 伸 : モノ捨てのすすめ「レジデントノート」16(16) : P3060-3062、羊土社、2015年2月

中島 伸 : ニセ脳卒中「レジデントノート」16(18) : P3481-3483、羊土社、2015年3月
馬場庸平、金村米博 : 二分脊椎「脳科学辞典」<http://bsd.neuroinf.jp>、<http://bsd.neuroinf.jp/wiki/二分脊椎>、2015年1月

佐々木奈都、金村米博 : 二分頭蓋「脳科学辞典」<http://bsd.neuroinf.jp>、<http://bsd.neuroinf.jp/wiki/二分頭蓋>、2015年2月

B-2

Kanemura Y, Ichimura K, Shofuda T, Nishikawa R, Yamasaki M, Shibui S, Arai H: Establishment of a nationwide molecular diagnostic network for pediatric malignant brain tumors in Japan. 16th International Symposium on Pediatric Neuro-Oncology, Singapore, 2014年6月

Negishi Y, Hattori A, Hori I, Ando N, Miya F, Tsunoda T, Okamoto N, Kato M, Yamasaki M, Kanemura Y, Kosaki K, Saitoh S: Truncating mutation of NFIA causes a brain malformation and urinary tract defect. ASHG 2014 Annual Meeting, San Diego, CA, USA, 2014年10月

Kanemura Y, Ichimura K, Shofuda T, Nishikawa R, Yamasaki M, Taylor MD, Arai H, Shibui S: Japanese Pediatric Molecular Neuro-oncology Group (JPMNG): establishment of a nationwide molecular diagnostic network for pediatric malignant brain tumors in Japan. 19th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology, Miami, FL, USA, 2014年11月

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Kanemura Y, Shofuda T, Fukusumi H, Okada Y, Okano H, Shirao T, Sekino Y: An attempt to establish non-clinical experiments for nervous system using human iPSC-driven neurons. The 18th Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience iPS Cells for Regenerative Medicine. Osaka, Japan 2015 年 1 月

B-3

藤中俊之、中村 元、吉峰俊樹：脳ドックのガイドライン 2014 無症候性頸部・脳主幹動脈狭窄・閉塞。日本脳ドック学会総会、山口、2014 年 6 月（教育講演）

藤中俊之、中村 元、重松朋芳、尾崎友彦、浅井克則、木谷知樹、村上知義、吉峰俊樹：脳神経血管内治療と脳神経外科手術の両立—そのメリットと諸問題—。日本脳神経血管内治療学会総会、横浜、2014 年 12 月（プレナリーシンポジウム）

藤中俊之：HydroGel Coil を用いた脳動脈瘤塞栓術。日本脳神経血管内治療学会総会、横浜、2014 年 12（アフタヌーンセミナー講演）

藤中俊之：頭頸部腫瘍に対する血管内治療。日本脳神経血管内治療学会総会、横浜、2014 年 12 月（教育講演）

藤中俊之：脳神経領域におけるエンボスフィアを用いた塞栓術。日本脳神経血管内治療学会総会、横浜、2014 年 12 月（教育講演）

藤中俊之、中村 元、黒田淳子、重松朋芳、尾崎友彦、浅井克則、木谷知樹、村上知義、吉峰俊樹：ステント留置カテーテルが誘導困難な脳動脈瘤に対する血管内治療。日本脳卒中の外科学会総会、広島、2015 年 3 月（教育ビデオシンポジウム）

藤中俊之：脳動脈解離の診断と治療。日本脳卒中学会総会、広島、2015 年 3 月（教育講演）

金村米博：髄芽腫分子遺伝学的診断。第 34 回日本脳神経外科コンgres総会、大阪、2014 年 5 月（プレナリーセッション講演）

金村米博、市村幸一、正札智子、西川 亮、山崎麻美、新井 一、渋谷壮一郎：日本小児分子脳腫瘍グループ：小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築. 1.髄芽腫、上衣腫。第 32 回日本脳腫瘍病理学会、徳島、2014 年 5 月（シンポジウム講演）

金村米博:先天性水頭症の分子遺伝学的診断法。第7回日本水頭症脳脊髄液学会、東京、2014年10月(特別講演)

沖田典子、埜中正博、梅原徹、中西克彦、金村米博、中島伸: Low grade glioma における FLAIR 画像での境界不鮮明症例の摘出について。第19回日本脳腫瘍の外科学会、東京、2014年9月(シンポジウム)

B-4

藤中俊之 中村 元 重松朋芳 尾崎友彦、浅井克則 木谷知樹 村上知義 吉峰俊樹: 大型血栓化脳動脈瘤の治療: 血管内治療の成績と問題点。日本脳神経外科学会第73回学術総会、東京、2014年10月(口演)

金村米博、隅田美穂、吉岡絵麻、山本篤世、兼松大介、高田 愛、埜中正博、中島 伸、神垣 隆、高原将司、才脇晶子、前川隆司、正札智子、森内秀祐、山崎麻美: 再発悪性グリオーマ症例を対象としたエレクトロポレーション法を用いた自己腫瘍ライセート導入樹状細胞ワクチン療法の第I/II相臨床試験。第11回免疫治療学研究会学術集会、東京、2014年2月(ポスター)

金村米博: 日本小児分子脳腫瘍グループ: 全国レベルでの小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築。一般社団法人日本脳神経外科学会第73回学術総会、東京、2014年10月(口演)

岡本伸彦、宮 冬樹、角田達彦、加藤光広、齊藤伸治、山崎麻美、金村米博、小崎健次郎: 進行性小脳萎縮を伴う新規神経変性症における KIF1A 変異。日本人類遺伝学会第59回大会、東京、2014年11月(口演)

原田敦子、宮 冬樹、金村米博、山中 巧、吉川大和、宇都宮英綱、埜中正博、岡本伸彦、角田達彦、加藤光広、齊藤伸治、小崎健次郎: 難治性シヤント機能不全を呈した Dandy-Walker malformation における PLG 遺伝子変異。日本人類遺伝学会第59回大会、東京、2014年11月(口演)

根岸 豊、服部文子、堀いくみ、安藤直樹、水野健太郎、宮 冬樹、角田達彦、岡本伸彦、加藤光広、山崎麻美、金村米博、小崎健次郎: NFIA 遺伝子変異は 1p32-p31 欠失症候群の中核症状を規定する。日本人類遺伝学会第59回大会、東京、2014年11月(口演)

宮 冬樹、加藤光広、塩浜 直、岡本伸彦、齊藤伸治、山崎麻美、阿部哲雄、森園 隆、Boroevich KA、秋山真太郎、久保充明、小崎健次郎、金村米博、角田達彦: 複合ターゲット

ットエンリッチメント法による exome 解析と疾患原因変異の同定。日本人類遺伝学会第 59 回大会、東京、2014 年 11 月（口演）

原田敦子、山中 巧、加藤光広、宇都宮英綱、金村米博、山崎麻美：突然死を来した巨脳症の一例。第 32 回日本こども病院神経外科医会、静岡、2014 年 11 月（口演）

深井順也、上松右二、金村米博、正札智子、吉岡絵麻、藤田浩二、中尾直之：ラブドイド・グリオブラストーマの臨床・病理学的検討：自験例報告と文献的考察。第 32 回日本脳腫瘍学会学術集会、千葉、2014 年 11 月（ポスター）

金村米博、市村幸一、正札智子、西川 亮、山崎麻美、新井 一、渋井壮一郎：日本小児分子脳腫瘍グループ：全国レベルでの小児頭蓋内悪性腫瘍の分子診断体制の構築。第 32 回日本脳腫瘍学会学術集会、千葉、2014 年 12 月（口演）

福岡講平、福島慎太郎、山下 聡、正札智子、中村大志、山崎夏維、高見浩数、松下裕子、牛島俊和、成田善孝、金村米博、山崎麻美、澁井壮一郎、新井 一、西川 亮、市村幸一：上衣腫のメチル化解析による分子遺伝学的分類。第 32 回日本脳腫瘍学会学術集会、千葉、2014 年 12 月（口演）

佐藤 薫、高橋華奈子、重本一最上由香里、金村米博、正札智子、福角勇人、岡田洋平、岡野栄之、白尾智明、関野祐子：ヒト iPS 細胞由来神経細胞を用いた薬理評価系確立の試み。第 88 回日本薬理学会年会、名古屋、2015 年 3 月（ポスター）

木村康義、金村米博、小田昌朗、中森雅之、正札智子、仲野 徹、望月秀樹：CRISPR/Cas9 システムを用いたヒト iPS 細胞への抗腫瘍自殺遺伝子の導入。第 14 回日本再生医療学会総会、横浜、2015 年 3 月（口演）

福角勇人、正札智子、兼松大介、山本篤世、山崎麻美、金村米博：神経分化指向性の劣るヒト iPS 細胞を用いた神経前駆細胞誘導法の検討。第 14 回日本再生医療学会総会、横浜、2015 年 3 月（ポスター）

正札智子、半田有佳子、稲澤佑衣、山本篤世、兼松大介、吉岡絵麻、福角勇人、隅田美穂、馬場庸平、金村米博：ヒト iPS 細胞由来神経前駆細胞を用いた神経毒性評価系の構築。第 14 回日本再生医療学会総会、横浜、2015 年 3 月（ポスター）

高橋華奈子、最上（重本）由香里、中條かおり、干川和枝、金村米博、正札智子、福角勇人、岡田洋平、岡野栄之、白尾智明、関野祐子、佐藤 薫：ヒト人工多能性幹細胞由

来神経細胞の非臨床試験への応用の試み。第 14 回日本再生医療学会総会、横浜、2015 年 3 月（ポスター）

黒田淳子、山田昌稔、藤田敏晃、大槻秀夫、吉峰俊樹：診断に苦慮した頭蓋内血管原性腫瘍の一例。第 74 回日本脳神経外科学会総会、東京、2014 年 10 月

黒田淳子、藤中俊之、山田昌稔、藤田敏晃、大槻秀夫、吉峰俊樹：治療戦略に工夫を要した頸動脈狭窄の一例。第 30 回日本脳神経血管内治療学会総会、横浜、2014 年 12 月

黒田淳子、山田修平、沖田典子、中西克彦、梅原徹、中島 伸、藤中俊之、吉峰俊樹：全身性多発性合併症により治療に難渋した脳静脈洞血栓症の一例。第 40 回日本脳卒中学会総会、広島、2015 年 3 月

沖田典子、埜中正博、正札智子、兼松大介、吉岡絵麻、児玉良典、眞能正幸、中島伸、金村米博：非造影神経膠腫における 11C-methionine PET での MGMT プロモーターメチル化率の予測について。第 73 回日本脳神経外科学会総会、東京、2014 年 10 月

沖田典子、埜中正博、正札智子、兼松大介、吉岡絵麻、児玉良典、眞能正幸、中島伸、金村米博：非造影神経膠腫における 11C-methionine PET での MGMT プロモーターメチル化率の予測。第 32 回日本脳腫瘍学会学術集会、東京、2014 年 12 月

梅原 徹、山中一功、山田修平、中西克彦、沖田典子、黒田淳子、金村米博、中島 伸：当院における外傷後水頭症の治療成績の検討。第 73 回日本脳神経外科学会総会、東京、2014 年 10 月

梅原 徹、沖田典子、埜中正博、中西克彦、金村米博、中島 伸：髄腔内播種を来たした再発性膠芽腫に対して Bevacizumab (BV) が効果を示した一例。第 32 回日本脳腫瘍学会学術集会、東京、2014 年 12 月

梅原 徹、山中一功、木谷知樹、森 康輔、山田修平、沖田典子、中西克彦、黒田淳子、金村米博、中島 伸：症候性総頸動脈慢性完全閉塞症に対して頸動脈ステント留置術 (CAS) を行った一例。第 40 回脳卒中学会総会、広島、2015 年 3 月

山田修平、沖田典子、金村米博、正札智子、森 康輔、梅原 徹、中西克彦、黒田淳子、埜中正博、山中一功、中島 伸：HGPPS のため上下肢不全麻痺が同側に出現した被殻出血の 1 例。第 40 回脳卒中学会総会、広島、2015 年 3 月

B-5

中島 伸：脳外科外来を受診した他科救急疾患について。大阪脳神経外科救急研究会、大阪、2014年7月

藤中俊之、中村 元、重松朋芳、尾崎友彦、浅井克則、木谷知樹、村上知義、吉峰俊樹：外傷性頭頸部血管損傷に対する血管内治療。頭頸部血管病変研究会、大阪、2014年11月（講演）

B-6

藤中俊之：Flow diverter の使用経験。大阪脳血管内治療研究会、大阪、2014年10月（口演）

沖田典子、埜中正博、梅原徹、金村米博、中島伸：再発時に癌性髄膜炎を認めた症例でのアバスタチンの治療効果について。脳腫瘍を考える会、大阪、2014年5月

梅原 徹、埜中正博、森 康輔、宮崎裕子、沖田典子、金村米博、山中一功、児玉良典、中島 伸：脳室内出血を契機に甲状腺濾胞癌の脳室内転移と診断された一例。第67回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、豊中、2014年4月

梅原 徹、沖田典子、埜中正博、山田修平、中西克彦、黒田淳子、金村米博、山中一功、中島 伸、藤中俊之：脳室内出血を契機に甲状腺濾胞癌の脳室内転移と診断された一例。平成27年度大阪大学脳神経外科関連施設懇話会、吹田、2015年1月

山田修平、沖田典子、金村米博、森 康輔、梅原 徹、中西克彦、黒田淳子、埜中正博、山中一功、中島 伸：被殻出血による上下肢不全麻痺が同側に出現したHGPPSの1例。第68回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、吹田、2014年9月

山田修平、沖田典子、金村米博、正札智子、吉岡絵麻、梅原 徹、中西克彦、黒田淳子、埜中正博、山中一功、藤中俊之、中島 伸：被殻出血による上下肢不全麻痺が同側に出現したHGPPSの1例。平成27年度大阪大学脳神経外科関連施設懇話会、吹田、2015年1月

友瀨匡紀、深井順也、北山真理、西岡和哉、藤田浩二、金村米博、上松右二、中尾直之：大脳膠腫症の進展・再発：脊髄播種した一例。第68回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、大阪、2014年9月（口演）

B-8

中島 伸：臨時医療安全管理委員会、遺族対応、警察対応、記者会見。国立病院機構医療安全研修会、福岡、2014年7月（講演）

中島 伸：医療現場のリーダーシップ。7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン、大阪、2014年7月（講演）

中島 伸：ワールド・カフェについて。国立病院機構リーダー育成共同宿泊研修、裾野、2014年9月（講演）

中島 伸：医療事故と医事紛争の予防について。国立循環器病研究センター医療安全講演会、吹田、2014年12月（講演）

藤中俊之：脳動脈瘤塞栓術の合併症と対策。第8回大分脳神経血管内治療研究会、大分、2014年4月（講演）

藤中俊之：脳卒中の治療－脳神経外科手術と脳血管内治療を中心に－。脳卒中市民講座、豊中、2014年5月（講演）

藤中俊之、中村 元、重松朋芳、尾崎友彦、浅井克則、木谷知樹、村上知義：脳神経領域におけるエンボスフィアを用いた塞栓術。脳血管内治療ブラッシュアップセミナー、神戸、2014年7月（教育講演）

金村米博：悪性脳腫瘍の遺伝子診断研究の現状とその臨床的意義。法円坂地域医療フォーラム、大阪、2014年2月（講演）

金村米博：当院における細胞加工施設の運用管理とがん免疫細胞療法の臨床応用について。第13回日本再生医療学会総会ランチョンセミナー18～今後求められる細胞医療と細胞加工のあり方について～、京都、2014年3月（講演）

金村米博：細胞治療の実用化に向けての取り組み－細胞免疫療法及びiPS細胞を用いた再生医療の実用化に向けて－。肺がんセミナー、福岡、2014年6月（講演）

金村米博：iPS細胞を応用した脳梗塞治療法の開発研究－大阪医療センターでの取り組み－。法円坂地域医療フォーラム、大阪、2014年6月（講演）

金村米博：脳腫瘍の遺伝子診断研究の現状とその臨床的意義。第5回脳腫瘍患者と患者

家族のための勉強会 in 関西、大阪、2014 年 7 月（講演）

金村米博：ヒト iPS 細胞の効率的神経分化誘導法と in vitro 安全性薬理試験への応用。
第 11 回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム、東京、2014 年 12 月（講演）

金村米博：ヒト iPS 細胞の効率的神経分化誘導法の開発と神経再生治療への応用。第 1
回再生医療とリハビリテーション研究会、広島、2015 年 3 月（講演）